

平成29年度教職大学院学修成果発表会（M2修了予定者・小学校教員免許取得プログラム者）

日時：平成30年2月13日（火）～16日（金）12:00-17:00(2月13日（火）のみ13:00-17:00)

場所：奈良教育大学学生会館山田ホール

M2学位研究報告書			2月13日		2月14日	2月15日	2月16日
ポスター番号	発表者	題目	午後①	午後②			
1	岩田 茉緒	多様性に対する寛容な態度の育成に関する教育実践 - 広い意味でのインクルーシブ教育の視点から -	●		●		
2	岡村 元太	主体的に学ぶ生徒を育成する「考える社会科」の授業設計に関する研究 - へき地・小規模の中学校を対象として -	●		●		
3	川端 夕貴	中学校における「人間関係形成能力」をはぐくむ授業実践	●		●		
4	北川 春花	高校古典における生徒の主体的な学びを目指した授業づくり - 自己探究文を書くことを通して -	●		●		
5	岸本 梨那	中学校家庭科教育における生活実践力育成につながる授業開発 - 電子レンジの活用に焦点をあてて -	●		●		
6	国元 穂高	問題解決を促す社会科の授業づくり - 「社会的見方・考え方」の育成を目指して -	●		●		
7	坂本有里紗	知的障害児教育におけるICT活用について - ハンドブック開発と授業実践 -	●		●		
8	崎尾 豊武	子ども同士のかかわり合いが学習意欲にもたらす効果の研究 - 学びのきっかけづくりに焦点を当てて -	●				●
9	清水 保宏	高等学校における協働的授業改善の研究 - カリキュラムマネジメントの視点から -		●	●		
10	田口カノン	生徒に共感性を育成する指導・援助の方法の検討	●		●		
11	田口 貴博	興味・関心を高めるICTの活用 - 小学校第5学年理科「雲と天気の変化」を通して -	●		●		
12	竹綱 秀起	アニメーション的手法を用いた学習指導法の創造 - 文学的文章を通して -	●		●		
13	巽 俊也	小集団の学びが子どもの学級集団意識への影響要因に関する研究 - 小学校体育授業からのアプローチ -		●		●	
14	田中 美沙	不登校生徒と学級の結びつきが与える影響に関する研究 - 別室指導での不登校生徒支援を通して -	●			●	
15	谷口 和也	生活習慣の乱れによる子どもの心身への影響に関する研究 - よりよい睡眠を目指した授業プログラム開発実践 -	●				●
16	中浦 涼	感情を抑制している子どもへの援助方法の検討 - 「よい子」に着目して -	●			●	
17	中川 聡之	認知特性に応じた書字支援 - 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒への効果的な支援方法の検討 -		●		●	
18	中村あとむ	小学校道徳教育におけるいのちの学習に関する授業開発	●			●	
19	中村千佳子	児童自らストレスをマネジメントする力を育てる保健教育に関する研究		●		●	
20	浪越 一浩	小学校理科における自分事の問題解決を目指す授業設計マトリックスの開発		●		●	
21	西 眞輝	高等学校における学習経験と学習効果の関係性について - 総合的な学習の時間と日本史Bに着目して -	●			●	
22	橋本 泰介	教員集団の学びと実践の変容を目指した実践研究 - 省察を用いた小学校学年部の授業研究に着目して -		●			●
23	福田 萌	全体と個別に対するいじめ予防プログラムの開発とその検討	●		●		
24	古川 将寿	防災教育の協働的な立案についての研究 - コアチームでの活動を手がかりに -		●		●	
25	向本 幸	幼児期から児童期における「不器用さ」へのアプローチ - 感覚統合の手法を用いた遊びを通して -		●		●	
26	武藤加那子	小学校における学校給食指導に関する研究		●			●
27	柳澤 純也	中学校社会科・地理における学習意欲喚起する授業モデルの実践 - 生徒に問題意識を持たせる資料提示を通して -		●			●
28	山中 伸子	小学校特別支援学級における効果的な指導の検討 - 子どもの特性と視覚情報を中心に -		●		●	
小学校教員免許取得プログラム			2月13日		2月14日	2月15日	2月16日
ポスター番号	発表者	題目	午後①	午後②			
29	植山 海生	クラスのLD児を支える英語の授業づくり		●			●
30	大西 彩香	主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学級づくり		●			●
31	齋藤 慶一	数学をはじめとする教科における学校図書館の利用について		●		●	
32	新谷 遥	児童の言語能力を育成する授業設計 - 日本語と外国語の特性を学ぶ教材を通して -		●			●
33	橋本よしの	ユニバーサルデザインの視点をとり入れた授業づくりを目指す		●			●
34	本多 雄大	困っている子どもを含めた通常学級における学級経営		●			●

注)表中の●は発表者本人が会場内で質疑応答を受けることができる時間帯です。

注)午後①は13:00-15:00,午後②は15:00-17:00です。